

しずかなおはなし



サムイル・マルシャーク ぶん

ウラジミール・レーベデフ え

うちだ りさこ やく

福音館書店 1978年 800円

12ページ 28×23cm

はいいろはりねずみの家族のしずかなしずかなおはなし。真夜中、森にさんぽに出かけたはりねずみの家族は、オオカミたちに見つかってしまいます。あわててまるくなって針を出すはりねずみの親子でしたが、オオカミたちはあきらめません。ところがそのとき、森に鉄砲の音が響きわたって、オオカミたちは逃げだしました。

青を基調にした味わいのある絵と、児童詩人であるマルシャークの言葉が静かな雰囲気を作り出しています。



しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ さく

ボフダン・ブテンコ え

うちだ りさこ やく

福音館書店 1974年 800円

24ページ 20×23cm

水のしずくが生まれて、蒸発して、また水になって、氷になって、また水になる…というひとしずくの水の一生を描いた絵本です。

自然界のしくみを描いていますが、イラストのかわいらしさと、リズムカルな文章、そして、手書きによる文字（日本語版は堀内誠一による）のあたたかみで、読み聞かせをしても楽しめる絵本です。

まだ、科学的なことまで思い至らない小さい子どもでも、絵とおはなしで十分楽しめます。